

2025 年 3 月 27 日
株式会社タダノ

デッキ積載荷重 1,000kg、最大地上高 19m の 自走式高所作業車「AS-63HD」を北米市場向けに発売

株式会社タダノ(本社:香川県高松市、代表取締役社長:氏家 俊明)は、最大地上高 19.1m の自走式高所作業車「AS-63HD」を北米市場向けに発売いたします。



開発コンセプト

北米市場において当社初となる、大型デッキを備えたホイールタイプの直伸boom式高所作業車を開発。

デッキ積載荷重 1,000kg (2205 lb)、最大地上高 19.1m (62 ft 8 in)、最大作業半径 11.4m (37 ft 4 in)で、広い作業範囲が特長であるboomリフトタイプの汎用性と、大きな荷重を垂直昇降できるシザーリフトタイプのパワーの両方の強みを一台で体現する製品です。これまでboomリフトやシザーリフトが単体ではできなかった作業を一台でこなすことができる AS-63HD の登場は、北米市場に非常に大きなインパクトを与えるものになると考えています。

さらに当社独自技術である 4 モーションコントロールにより、1 レバー操作でデッキの水平・垂直移動が可能で、デッキの 360° 連続旋回と合わせて、特に壁面作業などで容易で効率的な操作による高い生産性を実現します。

主な製品特長

■大容量・大型デッキ

北米市場では他に類を見ない、積載荷重1,000kg、外寸法4.2 x 1.94 x 1.1m、最大乗員数10名の大容量・大型デッキを備えています。多くの作業や大きな資材・重量物を一度に運ぶことができるため資材積込の回数が削減で

きるほか、シザーリフトのような拡張デッキを必要としないため、作業計画がよりシンプルで安全になり、作業効率も向上します。

■当社独自の優れた操作性

タダノ独自の4モーションコントロールにより、簡単なレバー操作で水平・垂直・斜め方向に直線的にスムーズにデッキを移動することができます。デッキが360° 連続旋回するため、車体を移動することなく柔軟にデッキ位置を調整し効率的に作業でき、作業時間短縮による生産性の向上が期待できます。

■高い安全と安定性

タダノがこれまでクレーンや高所作業車の製造で培った技術を活かした頑強な同時伸縮ブームは、たわみが少なく安定感があり、高所においても安心して作業することができます。

さらにテレマティクスや安全装置の拡充などの各種機能充実のためにAMC(過負荷防止・作動制御装置)を搭載。先進の機能と制御で、安全作業をサポートします。

■優れた車両性能

55.4kW (74.3 hp) のクボタ V3800エンジンを搭載した4WD駆動。ソリッドタイヤを採用し、許容傾斜角度は5°、最大速度は4.8km/h (3 mph)です。アウトリガやスタビライザの張出が不要なため、迅速に作業前のセットアップができます。

■投資価値

AS-63HDは高い品質を誇る日本製で耐久性に優れ、レンタル用車両としても自社用車両としても信頼して長く稼働させることができます。

建設工事やインフラ整備などの現場でも汎用性が高く、重量物の高所作業をこれまでよりも少ない機材で行うことができるため、コスト削減や機材の運用効率アップにつながり、高い投資価値が期待できます。

製品情報

・製品ページ: [AS-63HD - US/Canada](#)

・プロモーションビデオ: [Tadano AS-63HD | Heavy-Duty 1-Ton Boom Lift with Unmatched Stability & Ease of Use](#)

株式会社タダノについて

1955年に日本初の油圧式トラッククレーンを発売して以来、タダノは業界のリーディングカンパニーとして、お客様の安全と地球環境に配慮した新たな価値を提供するための戦略を推進しています。2023年には世界初となるフル電動のラフテレーンクレーンを発売しました。中期経営計画(24-26)に掲げる「Reaching new heights」のスローガンのもと、当社は地域社会・国際社会発展への貢献と地球環境の保全に役立つ事業活動を推進し、すべてのステークホルダーの期待に応え「世界に、そして未来に誇れる企業」を目指します。

【会社概要】

会社名: 株式会社タダノ

所在地: 香川県高松市新田町甲 34 番地

代表者: 代表取締役社長・CEO 氏家 俊明

URL: <https://www.tadano.co.jp/>

事業内容: 建設用クレーン、車両搭載型クレーン及び高所作業車等の製造販売

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社タダノ 総務部 広報・広宣グループ TEL:087-839-5601